



西条市まちづくり市民会議

平成29年7月28日(金)
市庁舎 5階大会議室

「西条市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 の見直しについて



～人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市～

西条市まち・ひと・しごと創生総合戦略（概要）

総合戦略（平成27年～31年）

●政策分野1 産業振興による活力あるまちづくり

基本目標	本市に人を呼び込み、地域活力の創出を図るためには、安定した雇用形態と収入といった、「経済的基盤の確保」が不可欠であり、若者の地域への定着を図るためにも、魅力ある「しごと」づくりが重要となります。 そこで、本市においては、民間や近隣自治体との連携も図り、様々な角度から産業振興による新たな雇用を創出し、市外からの新たな人の流れを生み出すことで、「しごと」と「ひと」の好循環を作り出し、持続可能な「まち」の活性化を図っていくものとして、子どもや若者が明るい未来を描き希望に満ち溢れた「活力あるまち」を創造します。
数値目標	○【企業立地数（累計）：30件】 ○【市内で新たに就職、就業した者の数（累計）：500人】
具体的な施策	①総合6次産業都市の実現 ②企業活動の活性化 ③新規産業の創出 ④産業人材育成・雇用環境の充実 ⑤商業の振興 ⑥農林水産業の振興

●政策分野2 西条ブランドを活用した魅力あるまちづくり

基本目標	本市は、市内に点在する地域資源の魅力、有機的連鎖により最大限に高め、市民一人一人の本市に対する誇りや愛着心の醸成を図ることに加え、民間や近隣自治体との連携も図り、観光分野をはじめ、様々な面から国内外に情報発信し、西条ブランドの更なる向上を図るとともに、人々の来訪意欲を喚起し、実際に来訪していただいた人が好印象を抱くような「おもてなし」が行き届いた「魅力あるまちづくり」を進めます。 また、本市へのひとの流れを作り出すとともに、受け入れ体制の整備を行い、魅力を感じていただくことで、将来的な移住・定住につなげていきます。
数値目標	○【地域ブランド調査におけるランキング（魅力度・認知度）：200位上昇させる】 ○【観光入込客数：3,777,000人】
具体的な施策	①観光産業の創出 ②西条の価値や魅力の向上・発信 ③環境資源を活かした地域づくり ④移住・交流施策の推進

●政策分野3 子育て世代に選ばれるまちづくり

基本目標	子育て世代の核家族化や共働きの増加などの変化に対応して子育てに係るニーズは拡大かつ多様化する傾向にあり、きめ細かな対応が求められています。本市では、子どもを産み育てやすい環境づくりのため、結婚、妊娠、出産、育児の切れ目ない支援と地域で子育てを支える仕組みをつくりまします。 併せて、本市の地域特性を活かした特色のある教育の推進と平等な学習機会の提供、コミュニティと連携した学校運営などを行うことで、“社会を生き抜く力”を持った子どもの成長を支援することにより子育て世代に選ばれるまちづくりを進めます。
数値目標	○【合計特殊出生率：1.82】
具体的な施策	①子どもを産み育てる環境の充実 ②学校教育の充実

●政策分野4 安全・安心で暮らしやすいまちづくり

基本目標	市民一人一人が健康で生きがいを持ち、地域で支えあいの輪を広げ、安全に安心して暮らせるまちをつくるため、行政・市民・自治会・NPO法人・企業など多様な主体が様々な分野で連携し、地域ぐるみで支えあいや健康づくり、防災対策などをすすめるとともに、誰もが利用できる地域公共交通の構築を図ります。 また、高齢化の進展やグローバル化など時代の変化への対応が求められるなか、大学など研究機関との交流・連携を深め地域活性化を図るとともに、諸外国の人々との相互理解を深める取組などから市民の国際理解や国際感覚の醸成を図り、より一層の文化・産業・経済の発展を目指します。
数値目標	○【西条市が住みやすい・西条市に住み続けたいと感じる市民の割合：5%上昇させる】
具体的な施策	①地域福祉の充実 ②健康づくりの推進 ③医療体制の充実 ④防災・減災対策の強化 ⑤協働のまちづくりの推進 ⑥時代の変化に対応した地域づくり



西条市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価指標一覧表

政策分野	対応する施策	項目(指標)	重要業績評価指標(KPI) :目標年度H31	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成27、28年度計 (累計指標のみ)	進捗率 (累計指標のみ)	
1. 産業振興による 活力あるまちづくり	基本目標	企業立地数(累計)	30件(5年間)	4件	1件	5件	16.7%	
		市内で新たに就職、就業した者の数(累計)	500人(5年間)	123人	89人	212人	42.4%	
	① 総合6次産業都市 の実現	(1)加工・貯蔵・流通機能の 確立	農産物加工工場の年間販売金額	—(H26) → 11億円	0.9億円	1.75億円	—	—
			地域資源貯蔵・流通施設取扱量	—(H26) → 10,000t	320t	1,174t	—	—
		(2)安定的な農産物供給機 能の確立	取組に参画して拡大した施設栽培面積	—(H26) → 12ha	0ha	0ha	—	—
	(3)総合6次産業都市を支 える産業人材育成機能の確 立	高度専門人材育成プログラム受講者数(累計)	36人(5年間)	0人	0人	0人	0.0%	
		総合6次産業に関連して本市を訪れる研究者・学生の 人数(累計)	480人(5年間)	106人	220人	326人	67.9%	
	② 企業活動の活性 化	(1)企業誘致・留置の促進	企業立地奨励措置に基づく設備投資額(累計)	400億円(5年間)	117億円	8億円	125億円	31.3%
			(2)中小企業などのものづく り産業の支援	新事業、販路開拓、共同研究などに対する補助件数 (累計)	250件(5年間)	42件	50件	92件
		市内ものづくり企業と市内外企業などとのマッチング件数 (累計)	150件(5年間)	50件	127件	177件	118.0%	
			次世代人材育成プログラムへの参加児童数(累計)	950人(5年間)	185人	223人	408人	42.9%
	③ 新規産業の創出	(1)新事業の創出と起業家 の育成	創業支援による創業実現数(累計)	50件(5年間)	22件	27件	49件	98.0%
		(2)産学官連携・農商工 連携の推進	地域資源を活用した新規産業への事業展開支援数 (累計)	10件(5年間)	2件	2件	4件	40.0%
	④ 産業人材育成・雇 用環境の充実	(1)産業人材の育成	起業家教育・キャリア教育プログラム受講者数(累計)	2,440人(5年間)	410人	418人	828人	33.9%
			(2)就労機会の拡充	就業機会創出事業参加者数(累計)	1,750人(5年間)	379人	486人	865人
		(3)労働環境の充実	地域労働者の福祉向上を目的とした融資制度利用件数 (累計)	30件(5年間)	3件	3件	6件	20.0%
	⑤ 商業の振興	(1)中心市街地の活性化	商店街空き店舗率	33.1%(H26) → 33.0%	32.1%	31.3%	—	—
			商店街空き店舗への新規出店件数(累計)	5件(5年間)	4件	7件	11件	220.0%
	(2)地域商業の活性化	市内小売業の年間商品販売額	99,210百万円(H26) → 100,000百万円	88,454百万円	—	—	—	
		⑥ 農林水産業の振 興	(1)農業生産基盤の確立	戦路作物の年間栽培面積	1,154.3ha(H26) → 1,250.0ha	1,264.8ha	1,345.0ha	—
	水田ほ場整備率			31.4%(H26) → 36.1%	31.4%	31.9%	—	—
	(2)多様な担い手の育成		新規就農者数(累計)	75人(5年間)	15人	16人	31人	41.3%
			担い手への農地集積率	35.1%(H26) → 40.0%	39.7%	41.8%	—	—
	(3)マーケットインの発想に 基づく農家所得の向上		加工用野菜の年間延べ栽培面積	29ha(H26) → 100ha	45ha	60.4ha	—	—
			農家所得向上に向けた講習会など受講者数(累計)	500人(5年間)	140人	194人	334人	66.8%
	(4)農業の持つ多面的機能 の維持・発展		多面的機能維持直接支払対象面積	2,969ha(H26) → 3,500ha	3,440ha	3,457ha	—	—
	(5)地産地消や食育の推進		農産物直売所来場者数	1,405,001人(H26) → 1,420,000人	1,459,416人	1,427,696人	—	—
(6)林業経営の安定化	民有林素材生産量		12,838m ³ /年(H26) → 20,000m ³ /年	10,506m ³	—	—	—	
	CLT製造業者		0社(H26) → 1社	0社	0社	—	—	
(7)水産業経営の安定化	一経営体当たりの漁獲高	7,696千円(H24) → 8,000千円	6,887千円(H25)	7,979千円(H26)	—	—		
	種苗放流	76万尾(H26) → 80万尾	76万尾	76万尾	—	—		



西条市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価指標一覧表

政策分野	対応する施策	項目(指標)	重要業績評価指標(KPI) :目標年度H31	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成27、28年度計 (累計指標のみ)	進捗率 (累計指標のみ)		
2. 西条ブランドを活用した魅力あるまちづくり	基本目標	地域ブランド調査におけるランキング	【魅力度】520位(H26) 【認知度】560位(H26) → 200位上昇させる	【魅力度】667位 【認知度】622位	【魅力度】418位 【認知度】545位	—	—		
		観光入込客数	3,495,769人(H26) → 3,777,000人	3,415,853人	3,410,753人	—	—		
	① 観光産業の創出	(1)観光推進体制・拠点の整備	四国鉄道文化館入館者数(累計)	280,000人(5年間)	57,461人	49,504人	106,965人	38.2%	
			サイクリング大会参加者数(累計)	2,100人(5年間)	276人	518人	794人	37.8%	
		(2)魅力ある観光ルートの確立と情報発信	石鎚山登山者数	50,000人(H26) → 51,000人	60,000人	57,494人	—	—	
			(3)受け入れ体制の充実とおもてなしの向上	バスツアー誘致件数(累計)	500件(5年間)	109件	139件	248件	49.6%
				新規案内人(ガイド)数(累計)	15人(5年間)	0人	0人	0人	0.0%
	② 西条の価値や魅力の向上・発信	(1)西条ブランドの構築・推進	大都市圏イベント・物産展出展件数(累計)	35件(5年間)	8件	9件	17件	48.6%	
			地域資源を活用した商品開発数(累計)	15件(5年間)	3件	3件	6件	40.0%	
			愛あるブランド認定数(累計)	5件(5年間)	1件	0件	1件	20.0%	
		(2)魅力の発信やPR	ホームページアクセス数	803,157件(H26) → 1,000,000件	1,008,401件	998,970件	—	—	
			フェイスブックアクセス数	653,450件(H26) → 890,000件	1,694,499件	1,495,039件	—	—	
			③ 環境資源を活かした地域づくり	(1)地域の環境資源の活用 の推進	石鎚山登山者数【再掲】	50,000人(H26) → 51,000人	60,000人	57,494人	—
	(2)環境負荷の少ない地域 社会の形成	新エネルギー等関連設備導入促進補助件数(累計)		750件(5年間)	161件	172件	333件	44.4%	
	④ 移住・交流施策の推進	(1)都市と農村の交流などの 推進		都市農山漁村交流施設滞在者数	1,435,162人(H26) → 1,500,000人	1,495,088人	1,450,696人	—	—
(2)スポーツ交流人口の増 加		合宿実施団体数	47団体(H26) → 50団体	51団体	50団体	—	—		
(3)移住・定住施策の推進		空き家バンクを通じた移住件数(累計)	40件(5年間)	—	3件	3件	7.5%		



西条市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価指標一覧表

政策分野	対応する施策	項目(指標)	重要業績評価指標(KPI) :目標年度H31	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成27、28年度計 (累計指標のみ)	進捗率 (累計指標のみ)	
3.子育て世代に選ばれるまちづくり	基本目標	合計特殊出生率	1.72(H20~H24)	→	1.82	—	—	
	① 子どもを産み育てる環境の充実	(1) 保育サービス・児童の健全育成の充実	延長保育	16カ所(H26)	→	18カ所	17カ所	17カ所
			一時保育	5カ所(H26)	→	8カ所	5カ所	4カ所
			地域子育て支援センター	6カ所(H26)	→	10カ所	6カ所	6カ所
			放課後児童クラブ登録者数	1,567人(H26)	→	1,614人	1,502人	1,585人
		(2) 子育て支援体制の充実	ファミリー・サポート・センター延べ利用者数	1,132人(H26)	→	3,242人	1,279人	1,357人
		(3) 母子保健の充実	乳幼児健診受診率	95.83%(H26)	→	100%	95.73%	97.03%
			こんには赤ちゃん事業の訪問率	84.13%(H26)	→	100%	93.30%	94.00%
			5歳児のスムーズな就学に対する保護者の満足度	80%(H31)		81.30%	97.40%	
		(4) 医療の充実	小中学生「こども医療費受給者証」交付率	68%(H26)	→	100%	86.85%	98.89%
		(5) 結婚に対する支援の充実	生涯未婚率	男性18.2%(H22) 女性8.2%(H22)	→	3%減少させる	—	男性21.7%(H27) 女性11.0%(H27)
	② 学校教育の充実	(1) 教育環境の整備・充実	教育用パソコン	6.9人/台(H26)	→	3.6人/台	4.8人/台	4.3人/台
			電子黒板・実物投影機の整備率	11%(H26)	→	100% (1学級あたり1台)	71.42%	137%
		(2) 「ともにづくり、みんなが育つ学校」の創造	街頭指導(声掛け含む)件数	1,755回(H26)	→	1,400回	1,299回	1,082回
			小・中学校ホームページの年間平均閲覧数	39,000回/校(H26)	→	50,000回/校	43,000回/校	43,900回/校
		(3) 知・徳・体のバランスの取れた子どもの育成	全国学力・学習状況調査平均正答率(総合)	小学校64.0% 中学校65.5% (H26)	→	小学校67.0% 中学校70.5%	小学校62.4% 中学校59.7%	小学校65.6% 中学校62.4%
			体力テスト結果(総合判定)	小学5年男子: 53.63点 小学5年女子: 55.00点 中学2年男子: 42.29点 中学2年女子: 51.66点 (H26)	→	小学5年男子: 55.50点 小学5年女子: 57.50点 中学2年男子: 42.50点 中学2年女子: 52.00点	小学5年男子: 53.61点 小学5年女子: 56.07点 中学2年男子: 42.24点 中学2年女子: 50.52点	小学5年男子: 54.19点 小学5年女子: 56.61点 中学2年男子: 41.25点 中学2年女子: 50.23点
			避難訓練年間実施回数	3回/校(H26)	→	10回/校	4.3回/校	9.1回/校



西条市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価指標一覧表

政策分野	対応する施策	項目(指標)	重要業績評価指標(KPI) :目標年度H31	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成27、28年度計 (累計指標のみ)	進捗率 (累計指標のみ)		
4. 安全・安心で暮ら しやすいまちづくり	基本目標	西条市が住みやすいと感じる市民の割合	81.8%(H25) → 5%上昇させる	—	—	—	—		
		西条市に住み続けたいと感じる市民の割合	79.7%(H25) → 5%上昇させる	—	—	—	—		
	① 地域福祉の充実	(1)高齢者の生きがいがいづりの支援	老人クラブの加入率	21.0%(H26) → 25.0%	20.3%	19.6%	—	—	
			日常生活支援事業の延べ受給者数	4,476人(H26) → 5,000人	4,479人	4,604人	—	—	
		(2)介護予防の推進	介護予防事業の延べ参加者数	3,409人(H26) → 4,500人	4,977人	5,053人	—	—	
			家族介護支援事業の延べ受給者数	1,955人(H26) → 2,200人	1,924人	1,976人	—	—	
			地域交流センターなど施設利用者数	142,171人(H26) → 155,000人	144,009人	143,561人	—	—	
		(3)介護サービスの充実	要介護認定者数のうち居宅サービス利用割合	68.7%(H26) → 75.0%以上	67.2%	73.5%	—	—	
			介護保険施設入所待機者数	354人(H26) → 300人以下	391人	391人	—	—	
		(4)障害者(児)福祉の充実	障害福祉サービス延べ利用者数	18,567人(H26) → 26,200人	21,424人	23,037人	—	—	
		② 健康づくりの推進	(1)市民の健康づくりの支援	健康相談延べ参加者数	4,281人(H26) → 5,000人	3,306人	4,844人	—	—
				健康教育延べ参加者数	8,962人(H26) → 13,000人	8,240人	14,852人	—	—
	各種がん検診の平均受診率			20.1%(H26) → 25.0%	20.0%	20.5%	—	—	
	健康づくり推進員による運動などの自主活動に取り組む地区の数			2地区(H26) → 12地区	2地区	6地区	—	—	
	(2)スポーツ・レクリエーション活動に親しめる環境整備		次世代育成支援スポーツ事業延べ参加者数	1,510人(H26) → 1,700人	1,260人	2,101人	—	—	
	③ 医療体制の充実	(1)医療保障の充実	特定健診受診率	34%(H26) → 60%	34.9%	—	—	—	
		(2)地域医療体制の充実	医師確保奨学金利用件数(累計)	6件(5年間)	2件	1件	3件	50.0%	
	④ 防災・減災対策の強化	(1)防災体制の充実	総合防災訓練実施回数(累計)	10回(5年間)	2回	3回	5回	50.0%	
		(2)市有施設の耐震化の促進	市有施設の耐震化率	83.65%(H26) → 100%	88.62%	90.16%	—	—	
		(3)地域防災力の強化	自主防災組織の組織率	84.7%(H26) → 100%	86.3%	89.2%	—	—	
	市が養成した防災士の人数(累計)		100人(5年間)	100人	83人	183人	183.0%		
	⑤ 協働のまちづくりの推進	(1)協働のまちづくりの推進	NPO法人数(累計)	8法人(5年間)	3法人	-2法人	1法人	12.5%	
		(2)市民活動団体の育成・支援	ボランティア団体登録数(累計)	10団体(5年間)	-1団体	-3団体	-4団体	-40.0%	
		(3)市民活動団体のネットワーク化の促進	西条市市民活動支援センター利用登録団体数(累計)	150団体(5年間)	40団体	23団体	63団体	42.0%	
		(4)地域コミュニティ活動の支援	自治会加入率	65.88%(H26) → 70.0%	65.19%	64.53%	—	—	
	⑥ 時代の変化に対応した地域づくり	(1)大学など研究機関との交流・連携の推進	大学・研究機関と連携実施したセミナーなどの受講者数(累計)	2,000人(5年間)	321人	645人	966人	48.3%	
			(2)男女共同参画社会の推進	審議会などにおける女性委員の割合	22.7%(H26) → 30.0%	22.0%	—	—	—
「男女共同参画社会」という言葉を知っている市民の割合		61.7%(H26) → 80.0%		—	—	—	—		
(3)国際交流の推進		国際交流ボランティア登録者数(累計)	150人(5年間)	—	37人	37人	24.7%		
(4)持続可能な地域公共交通の構築		新交通体系などでの実証運行の開始	—(H26) → 100%(山間部4地域)	—	100.0%	—	—		



平成28年度地方創生加速化交付金事業指標一覧表

○地方創生加速化交付金交付率：10/10

交付金事業名称	事業概要・目的	事業内容	交付対象事業費 (単位：円)	項目（指標）	重要業績評価指標（KPI） ：目標年度H31	平成28年度 目標	平成28年度 実績
四国経済を牽引する「総合6次産業都市」実現加速化事業	本市の工業都市と農業都市双方のポテンシャルを最大限に活かし、地域に密着した新産業を創出することを目的に、農林水産物の生産、加工、流通、貯蔵、販売の各種機能の集積化を図る「総合6次産業都市」の実現により、持続可能な地域社会づくりに資する。	【生産面の課題を解消する事業】 ◆新たな大規模施設栽培などの案件発掘を目的に、「総合6次産業都市」実現へ向けた先駆的な取組や生産拠点としてのポテンシャルPRのため、展示会へ出展。 ・総合6次産業都市推進事業（地域創生室）※平成29年度から農業水産課へ所管替 【加工・流通面の課題を解消する事業】 ◆地場産品（農水産品・加工食品等）の販路開拓を支援するため、展示商談会に市内食関連事業者と共同出展や、PR・販売イベントの企画・開催・参画等により大都市圏・海外においても情報発信を図ることに加え、地域資源の更なる掘り起こしや、ブランド力の向上を図る。 ・西条市版地域創生コミュニケーションサイト運営事業（地域創生室） ・国内・海外市場開拓支援事業（産業振興課） ・地域産業競争力強化事業（産業振興課） ・地域農商工連携促進対策事業（産業振興課） ・物産販売推進事業（産品価値創造課） 【専門人材育成面の課題を解消する事業】 ◆地域内におけるフィールドワーク研究の誘致などの推進を通じ、地域創生のまちづくりを推進することができるマネジメント人材や中核人材を育成。 ・地域創生教育研究活動推進事業（地域創生室） ・地域創生イノベーション創出事業（地域創生室）	20,862,467	農産物加工工場の年間販売金額	—(H26) → 11億円	2億円	1.75億円
		地域資源を活用した新規産業への事業展開支援数		10件（5年間）	2件	2件	
		取組に参画して拡大した施設栽培面積		—(H26) → 12ha	2.4ha	0ha	
		総合6次産業に関連して本市を訪れる研究者・学生の人数		480人（5年間）	100人	220人	
地域中核ものづくり中小企業育成支援事業	新たな事業展開や国内外での市場開拓等に積極的に取り組み、競争力を高め、事業の活性化と雇用の維持・創出を図ろうとする意欲的なものづくり中小企業に対し、入口から出口まで一貫した総合的な支援を行うことにより、地域産業の「稼ぐ力」を強化し、新規雇用の創出と地域経済活性化の実現を目指す。	【ものづくり中小企業の海外展開支援】 ◆ベトナムにビジネスサポートデスクを設置し、現地企業等の受発注ニーズや技術課題等を踏まえた同国でのビジネス展開の支援等。 ・国内・海外市場開拓支援事業（産業振興課） 【大規模展示商談会の活用による国内市場開拓支援】 ◆愛媛県、新居浜市と連携し、都市部（東京・大阪）で開催される大規模展示商談会での広域的目付効果的な支援体制により数多くの商談機会を創出。 ・国内・海外市場開拓支援事業（産業振興課） 【ものづくり中小企業の自立化へ向けた基盤構築・競争力強化支援】 ◆ものづくり中小企業の自立化を加速するための基盤構築と競争力強化に繋がる新事業や生産性向上、人材育成、販路開拓、大学との共同研究等の取組を支援。 ・地域産業競争力強化事業（産業振興課） 【ものづくり中小企業の新事業等促進支援】 ◆高い技術力を有するモノづくり中小企業を対象に、企業OBアドバイザー及びコーディネータが「新たな市場開拓に繋がる各種情報の提供やアドバイス、ビジネスマッチング、大学との共同研究による新たな技術・製品開発支援等」をワンストップにて提供。 ・国内・海外市場開拓支援事業（産業振興課）	24,232,360	新事業、販路開拓、共同研究などに対する補助件数	250件（5年間）	50件	50件
		市内ものづくり企業と市内外企業などのマッチング件数		150件（5年間）	30件	127件	
		支援した企業における従業者数		10%増（5年間）	2%増	3.5%増	
新居浜・西条圏「ひとしごと」マッチング強化事業	新居浜市と西条市が連携し、これら課題解決へ向けた取組を推進することにより、新居浜・西条圏における広域的な連携構造を高め、「しごと」と「ひと」の好循環を生み出すことを目指す。	【地域中核企業と中小企業・小規模事業者とのマッチング強化】 ◆新居浜西条地域の中核大手企業とモノづくり中小企業の技術マッチング推進のため、各社工場現場へ出向き、中小企業の製品・技術等をPRする展示商談会を開催。 ・国内・海外市場開拓支援事業（産業振興課） 【人材マッチング合同企業説明会の開催】 ◆雇用機会の効率的かつ効果的な創出を図るため新居浜西条合同企業説明会を、両市出身の若者が多く集まる愛媛県松山市にて開催。 ・雇用促進対策事業（産業振興課）	4,815,917	市内ものづくり企業と市内外企業などのマッチング件数	150件（5年間）	30件	127件
		合同企業説明会来場者数		750名（5年間）	150人	135人	
合計			49,910,744				



平成28年度地方創生推進交付金事業指標一覧表

○地方創生推進交付金交付率：1 / 2

交付金事業名称	事業概要・目的	事業内容	交付対象事業費 (単位：円)	項目(指標)	重要業績評価指標(KPI) ：目標年度H30	平成28年度 目標	平成28年度 実績
地域産業資源を活用した競争力強化・新産業創出プロジェクト (1年目)	農林水産資源や企業集積、技術シーズなど本市独自の産業資源を核に、グローバル競争にも打ち勝つことのできる産業競争力の獲得と雇用の受け皿となり、地域経済の成長を牽引する次世代分野等の新たな産業創出の実現を目指す。	【新産業創出へ向けたイノベーション促進】 ◆地域産業資源活用による新産業創出へ向けた研究会の開催、マーケティング調査及びビジネスモデル検討等のための各種調査、関連企業等によるネットワーク構築等 ・地域産業資源を活用した新産業創出促進事業(産業振興課)	1,296,000	本事業において支援した企業の従業員の増加数	63人(3年間)	3人	5人
				市内ものづくり企業と市内外企業等とのマッチング件数	70件(3年間)	10件	14件
				地域資源を活用した新規産業への事業展開支援数	5件(3年間)	1件	1件
石鎚山系の魅力発信及び持続可能な資源とする事業 (1年目) ※広域連携事業 (H28は西条市・久万高原町・いの町の3市町)	西日本最高峰の石鎚山をはじめとした雄大な石鎚山系を有する西条市、久万高原町、いの町において、行政の枠を超えた連携事業を実施し、登山者等の安全対策の充実、豊富な生態系を有する石鎚山系を持続可能な資源とするための取組などを実施する。	【ワーキンググループの開催】 ◆3自治体及び石鎚山系に携わる関係者をメンバーとしたワーキンググループを設置し、現状の取組から課題について洗い出しを行う。これらの結果に基づき、次年度実施する事業の方向性・内容を決めるとともに、ワーキンググループを発展させた協議会を設立。 ・石鎚山系魅力発信事業(観光振興課)	480,804	石鎚山登山者数【西条市・久万高原町の合計】	85千人(H27) → 90千人	86千人	93千人
				周辺主要観光施設入込客数【西条市・久万高原町・いの町の合計】	455千人(H27) → 499千人	459千人	453千人
				石鎚山系関連イベント参加者数【西条市・久万高原町・いの町の合計】	4,633人(H27) → 5,100人	4,700人	5,225人
		合計	1,776,804				

※地方創生推進交付金事業のKPIの目標年度は、国の支援期間(3年間)である平成30年度まで

※地域産業資源を活用した競争力強化・新産業創出プロジェクトの平成28年度のKPIは、事業実施期間(平成28年12月～平成29年3月)の目標及び実績



平成29年度西条市まち・ひと・しごと創生総合戦略見直しスケジュール（案）

1. 見直しの目的

- ・平成27年国勢調査の確定値が公表されたことにより、現在の西条市人口ビジョンに最新の数値を反映させ、より現実に即した人口動向の現状分析及び将来推計を行う。
- ・西条市人口ビジョンの見直しに伴い、その結果に基づいた施策を西条市総合戦略に反映する。

2. 見直しスケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
① 人口ビジョン		人口調査分析委託				
			基礎資料提出		素案完成	
② 西条市総合戦略	平成28年度KPI取りまとめ	KPI修正、項目追加案検討				素案完成
		地方創生関連交付金事業の実績報告資料作成				
③ 議会・外部有識者等の審議・報告・検証 ア 市議会			平成28年度KPI報告	総合戦略見直しスケジュール提示	地方創生関連交付金事業の実績報告	素案報告
イ まちづくり市民会議ほか				平成28年度KPI報告	総合戦略見直しスケジュール提示 (人口ビジョンの修正内容など)	西条市まち・ひと・しごと 創生本部会議
					地方創生関連交付金事業の実績報告	

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
① 人口ビジョン	人口調査分析委託					
		最終案完成	最終案修正、確定版作成	確定版印刷、製本		
② 西条市総合戦略	KPI再修正、項目追加案再検討	最終案完成	最終案修正、確定版作成	確定版印刷、製本		西条市まち・ひと・しごと創生 総合戦略(改訂版)冊子完 成
③ 議会・外部有識者等の審議・報告・検証 ア 市議会			最終案報告			冊子配布
イ まちづくり市民会議ほか	素案報告	パブリックコメント実施				冊子配布

地方創生関連事業の実施状況

地域再生計画『石鎚山系の魅力発信及び持続可能な資源とする事業』

事業の内容

事業目的・概要

- 西日本最高峰の石鎚山をはじめとした雄大な石鎚山系を有する西条市、久万高原町、いの町、大川村においては、**類似の政策目標**を掲げ（※参考参照）、さらには石鎚山系をフィールドとした同様の取り組みをそれぞれが行っているのが現状
- 行政においては限られた資源の中において **より効率的な事業の実施**、また何より **利用者（旅行者、登山者、サイクリスト等）の満足度向上**のためには、行政の枠を超えた **1市2町1村が連携した事業の実施が必要**と考え、実施する
- 他方、これら利用者増進等振興策のみならず、**登山者等の安全対策の充実**、豊富な生態系を有する石鎚山系を **持続可能な資源**とするための取り組みなど多岐にわたる活動、さらにはこれら活動の **継続化に向けた組織等のあり方をDMOを含め検討**

[参考]各自治体における政策目標（重要業績評価指数（KPI））

【西条市】石鎚山登山者数 50千人 ⇒ 51千人、観光入込客数 3,495千人 ⇒ 3,777千人
 【久万高原町】イベント集客数 34千人 ⇒ 50千人、観光消費額 24.3億円 ⇒ 24.5億円
 【いの町】主要観光施設入込客数（町全体） 401千人 ⇒ 450千人
 【大川村】白滝の郷入込客数 7,248人 ⇒ 15,000人

本事業における重要業績評価指標（KPI）

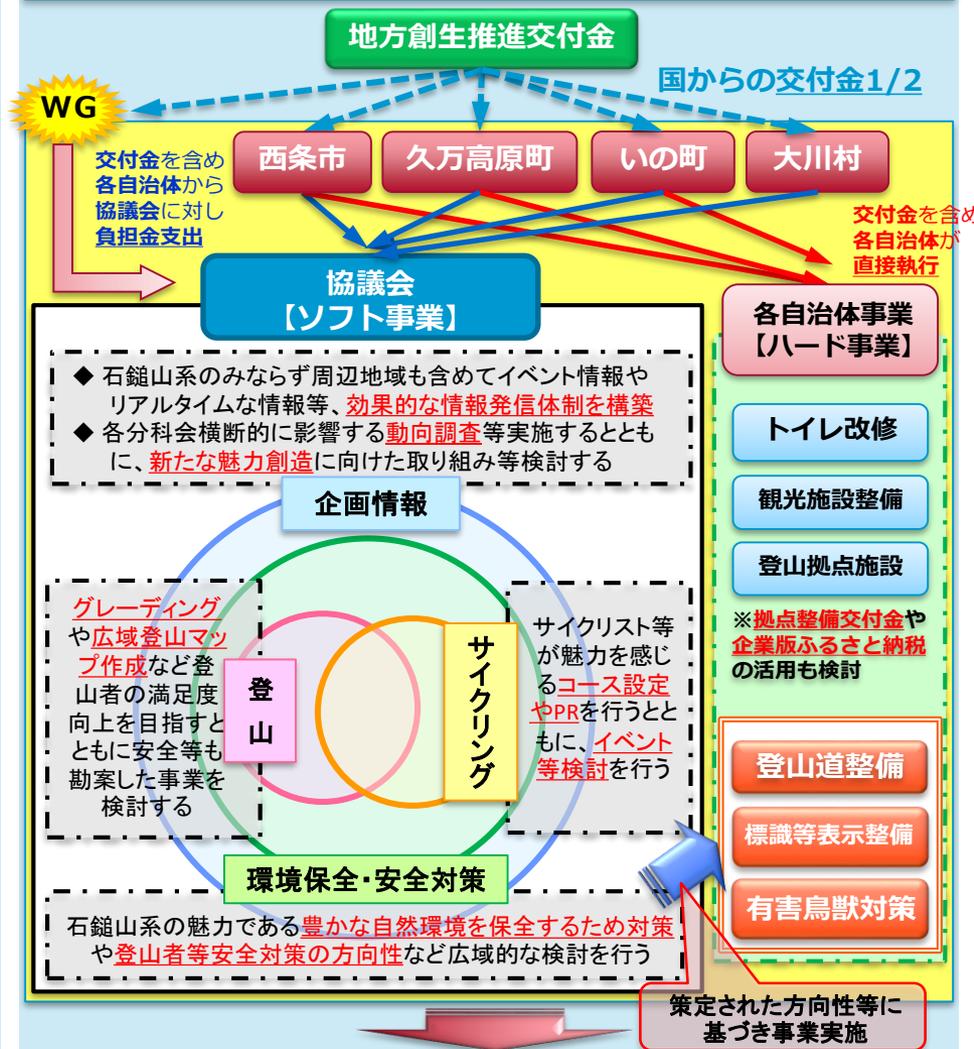
- **石鎚山登山者数 85千人 ⇒ 90千人** [[西条]ロープウェイ利用者、[久万高原]公衆トイレ]
- **周辺主要観光施設入込客数 462千人 ⇒ 510.8千人**
 [[西条]ふれあいの里<<5千人>>、石鎚山ハイウェイオアシス館（道の駅小松オアシス）<<254千人>>、頂上山荘<<2千人>>、[久万高原]おもごふるさとの駅<<51千人>>、岩黒レストハウス<<38千人>>、溪泉亭面河茶屋<<2千人>>、国民宿舎古岩屋荘<<42千人>> [いの町]木の根ふれあいの森<<1千人>>、道の駅木の香<<54千人>>、山荘しらす<<6千人>>、[大川村]白滝の郷<<7千人>>]
- **石鎚山系関連イベント参加者数 4,633人 ⇒ 5,100人**
 [[西条]西条自然学校 自然観察会等<<2,407人>>、石鎚山スターナイトツアー<<569人>> [久万高原]石鎚山ヒルクラム<<602人>>、[いの町]四国のでっぺん酸欠マラソン<<455人>>、氷室まつり<<600人>>]

本事業実施後に期待すること

- 共有化された方向性の下、**継続的**及び新たな実施者による**新たな取り組み創生**
- 周辺山々然り、しまなみ海道、仁淀ブルーなど**他地域と連携した取り組み**に発展

事業イメージ

- 連携して実施する**ソフト事業**は、各自治体が、協議会に対し**負担金を拠出し**、実施
- 本事業に関連する各自治体の**ハード事業**は、交付金を受け、各自治体が**直接実施**
- 協議会の結果を受け実施するハード事業についても、交付金を受け、各自治体が**直接実施**



認知度向上等による登山者等増加、地域経済の好循環創出

地域再生計画『石鎚山系の魅力発信及び持続可能な資源とする事業』

H28年度 ワーキンググループ開催概要

①開催目的

石鎚山系の魅力である自然環境保全をするとともに、登山者等利用者目線に立った安心安全の体制整備等の取り組みを、**行政の枠を超えた多面的、実効的に実施**するため、石鎚山の関係者が一堂に会し、**現状の取り組みや課題の洗い出しを行い、情報整理と課題共有化**を行う。

②目指す効果

現状の取り組みや課題の情報整理と共有化を図ることで、**次年度事業の内容や方向性を決定**するとともに、**今後の事業実施の主体となる協議会を設立**し、共通認識のもと、事業を実施する。

③WGメンバー

大学	愛媛大学社会共創学部准教授 井口 梓	山関係	NPO法人西条自然学校
	高知大学地域連携推進センター特任助教 大崎 優		NPO法人石鎚森の学校
観光協会	(一社) 西条市観光物産協会	【オガサバ-】 行政	面河溪を愛する会
	久万高原町観光協会		四国運輸局
	いの町観光協会		中国四国地方環境事務所
観光関係	西条商工会議所	【事務局】 行政	四国森林管理局
	(一社) 仁淀バル観光協議会		愛媛県
	株式会社石鎚観光		愛媛県東予地方局
交通関係	石鎚登山ロープウェイ株式会社	【事務局】 行政	高知県
	四国開発フェリー株式会社【大阪南港～東予港フェリー】		西条市
	瀬戸内運輸株式会社【路面及び高速バス】		久万高原町
サイクリング関係者	西条市サイクリング大会実行委員会	【事務局】 行政	いの町本川総合支所
	高知県サイクリング協会		

④WGスケジュール

- 【11月16日】 第1回WG開催（本事業の趣旨・概要説明、現状取組課題把握）
- 【1月27日】 第2回WG開催（協議会・分科会案、来年度事業内容検討）
- 【2月17日】 第3回WG開催（来年度事業内容、協議会・分科会）

H29年度 実施事業（案）

○協議会・分科会開催

- ・各分科会は、他分科会との連携も図りながら、各種事業を実施
- ・協議会は各事業実施状況の報告を受け、効果等評価及び今後の方向性を検討
- ・全体を通して、石鎚山系に係る各種動きや課題等、継続的な共有体制を構築

○登山者等動向調査

- ・登山者や交通機関利用者、ツアー来訪者などへの調査とともに、WebやGPS等を活用した調査などを行うことにより、今後の各種事業の方向性等に反映させる。

○情報発信等体制構築

- ・Web等によるリアルタイムな情報発信体制の構築、広報媒体作成の検討
- ・ビジターセンター等情報発信拠点設置の検討

○登山者等受入体制強化

- ・縦走路グレーディングも付加した広域登山マップ作成
- ・ガイドの在り方検討（ex.ガイドライン策定、認定制度等体制づくり）

○サイクリング活性化

- ・サイクリングコース策定、PR用コースマップ作成
- ・今後のサイクリングイベント実施について検討

○環境・安全対策ロードマップ検討

- ・広域かつ効果的な環境保全対策、安全対策を行うためのロードマップ策定に向けた検討を行う

○フォトコンテスト

- ・次年度以降のPR用写真素材として活用するなど幅広く募集を行う

■ライブカメラ設置（西条市・久万高原町・いの町）

- ・天候、山の状況（アケボノツツジ開花状況、紅葉状況）等リアルタイムな情報発信のため、各自治体にライブカメラ設置

■登山道等補修整備（西条市・久万高原町）

- ・危険個所の補修をし、登山者等の安全性を確保する。

○：ソフト事業（協議会で事業実施）

■：ハード事業（分科会検討結果等に基づき各自治体が実施）

地域再生計画『石鎚山系の魅力発信及び持続可能な資源とする事業』

(参考) 周辺主要観光施設位置図



地域再生計画『石鎚山系の魅力発信及び持続可能な資源とする事業』

地方創生拠点整備交付金を活用し、情報発信等拠点化を目指す石鎚山ハイウェイオアシス



地域再生計画『石鎚山系の魅力発信及び持続可能な資源とする事業』

石鎚山ハイウェイオアシス リニューアル整備（案）

石鎚山ハイウェイオアシス館 1階

【現状】石鎚山体験スペース
⇒【改修後】映像等とも付加した石鎚山体感スペース

【現状】休憩スペース（ソファ設置）
⇒【改修後】観光情報発信スペース

【現状】休憩スペース（マッサージチェア設置）
⇒【改修後】物販スペース

【現状】フリースペース
⇒【改修後】企画展示・レンタルスペース

【現状】複雑なレイアウト
⇒【改修後】壁を撤去し、広々とした寛げる空間とするとともにイベント等実施

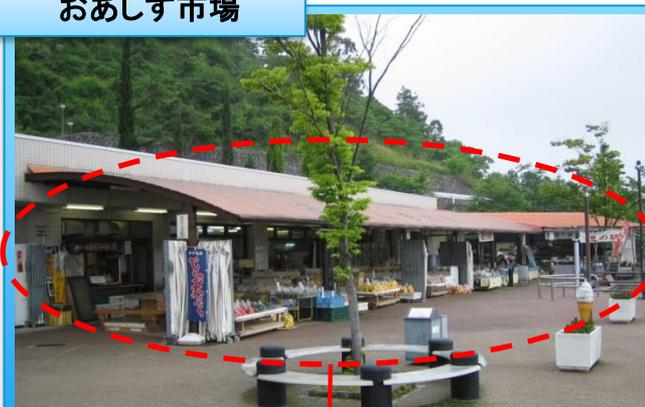
石鎚山ハイウェイオアシス館 2階

【現状】設備室
⇒【改修後】カフェスペース

【現状】映像等で市内情報発信
⇒【改修後】木育スペース

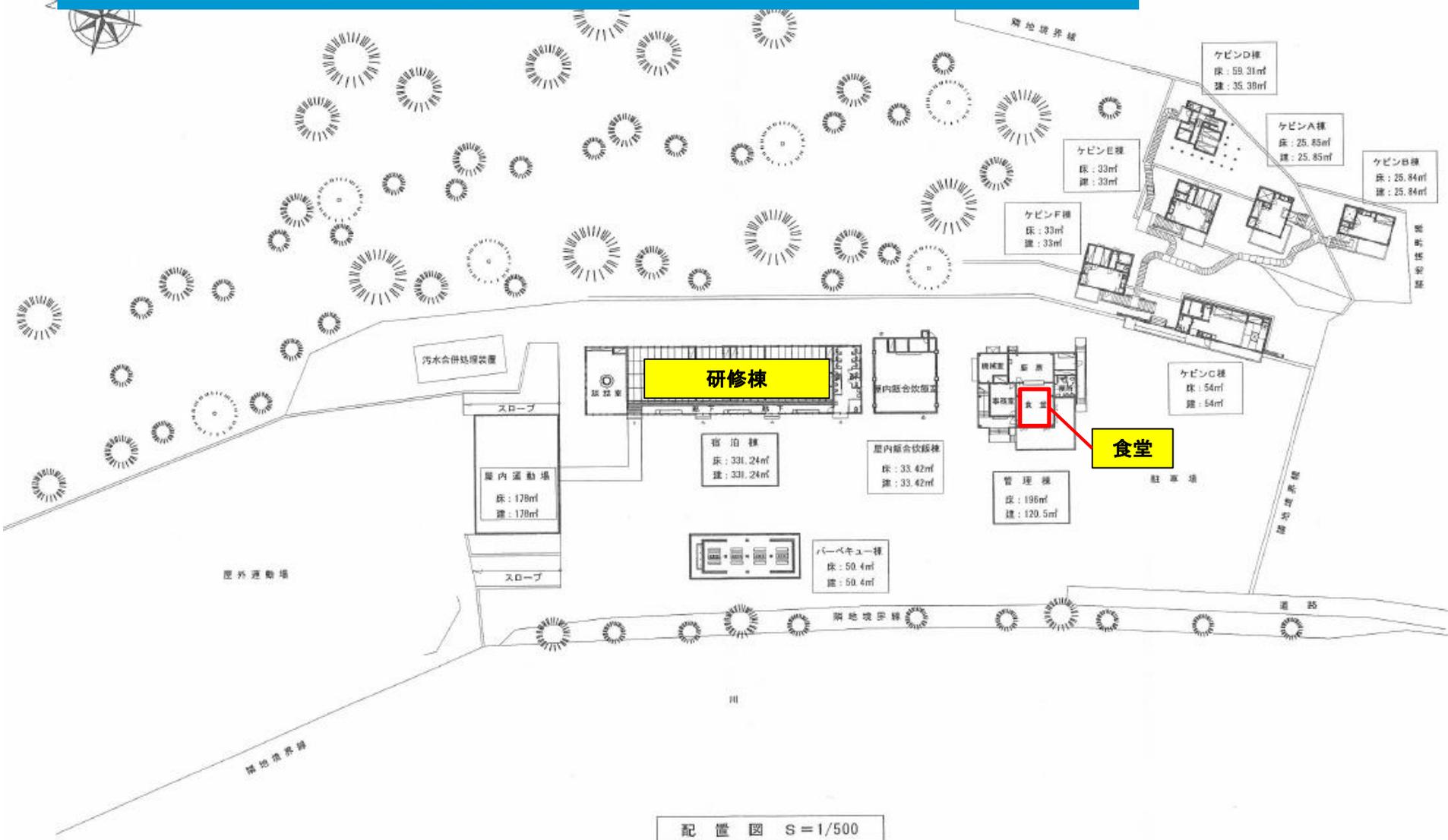
おあしす市場

【現状】テント素材屋根、鉄柱
⇒【改修後】耐久性のある屋根設置、鉄柱の建て直し



地域再生計画『石鎚山系の魅力発信及び持続可能な資源とする事業』

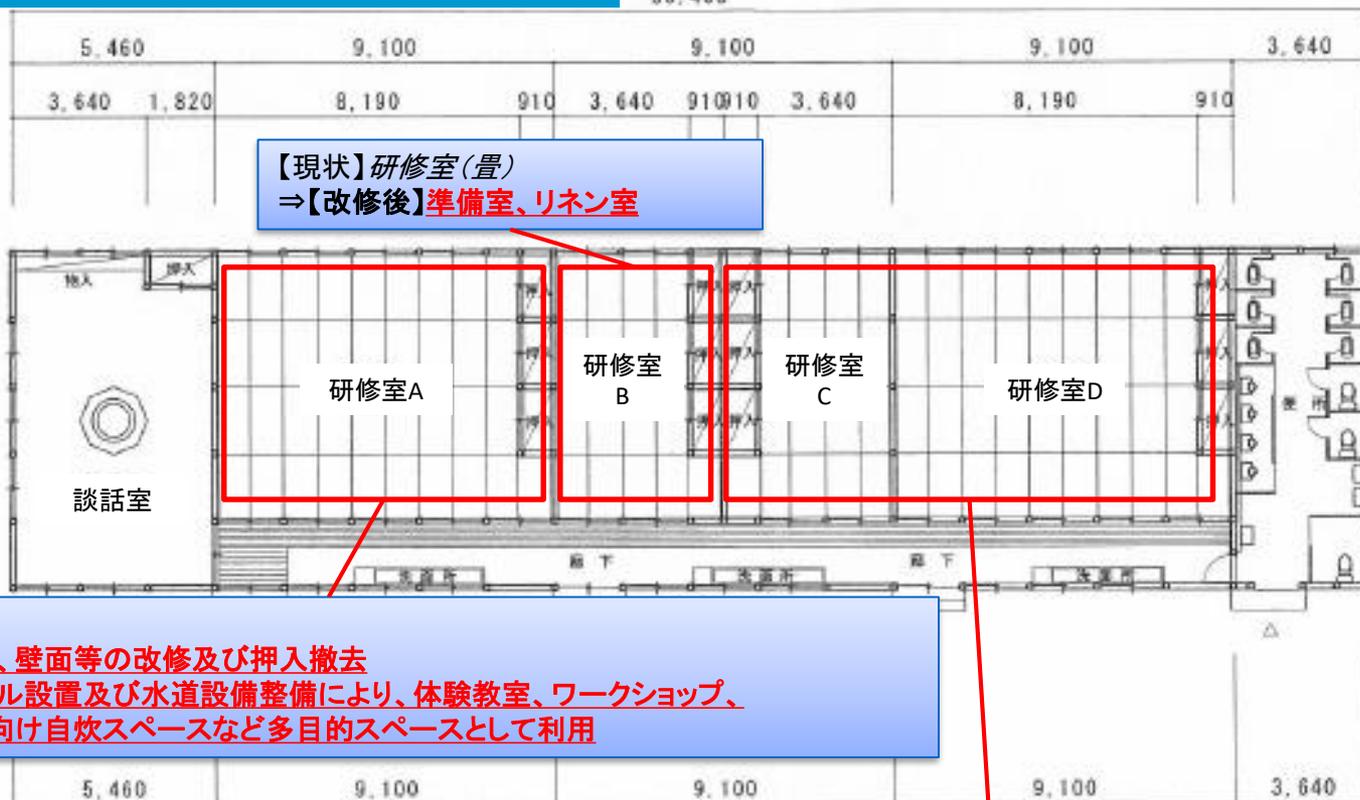
地方創生拠点整備交付金を活用し、情報発信等拠点化を目指す石鎚ふれあいの里



地域再生計画『石鎚山系の魅力発信及び持続可能な資源とする事業』

石鎚ふれあいの里【研修棟】 リニューアル整備（案）

36,400



【現状】研修室(畳)

⇒【改修後】①柱、梁、壁面等の改修及び押入撤去

②テーブル設置及び水道設備整備により、体験教室、ワークショップ、
宿泊者向け自炊スペースなど多目的スペースとして利用

【現状】研修室(畳)

⇒【改修後】①柱、梁、壁面等の改修及び押入撤去

②スクリーン等を設置し、団体研修、講座、座学、宿泊室など研修室として利用

1階平面図 S=1/200

床面積計算式及び建築面積算定式

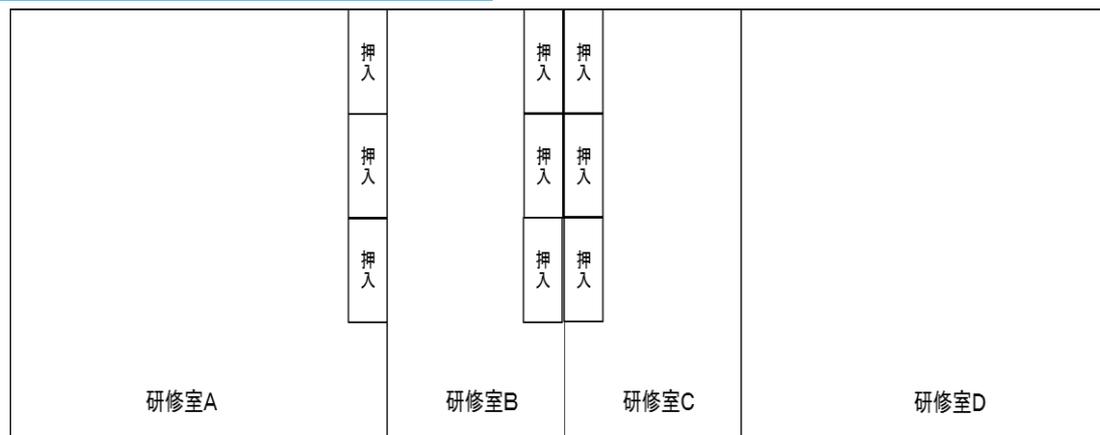
$$36,400 \times 9,100 = 331,240 \text{ m}^2$$



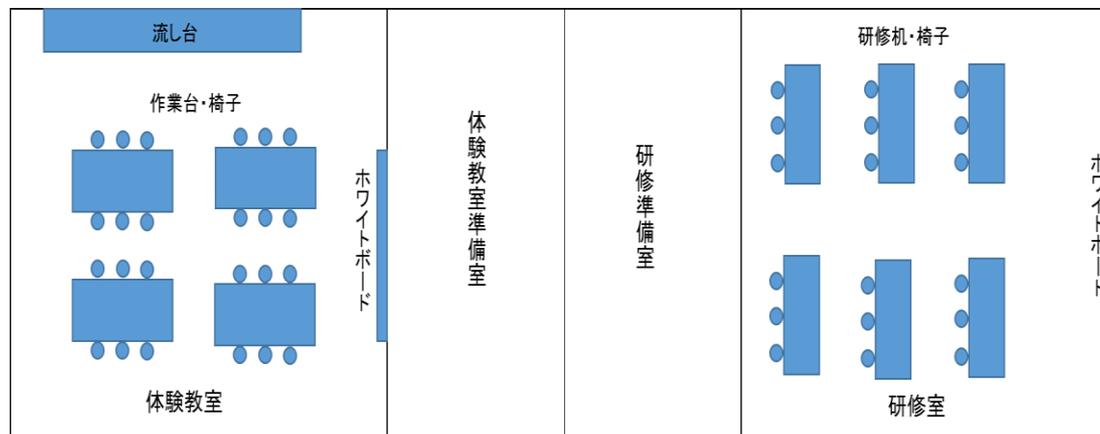
地域再生計画『石鎚山系の魅力発信及び持続可能な資源とする事業』

石鎚ふれあいの里【研修棟】 リニューアル整備（案）

【現状】



【改修案】

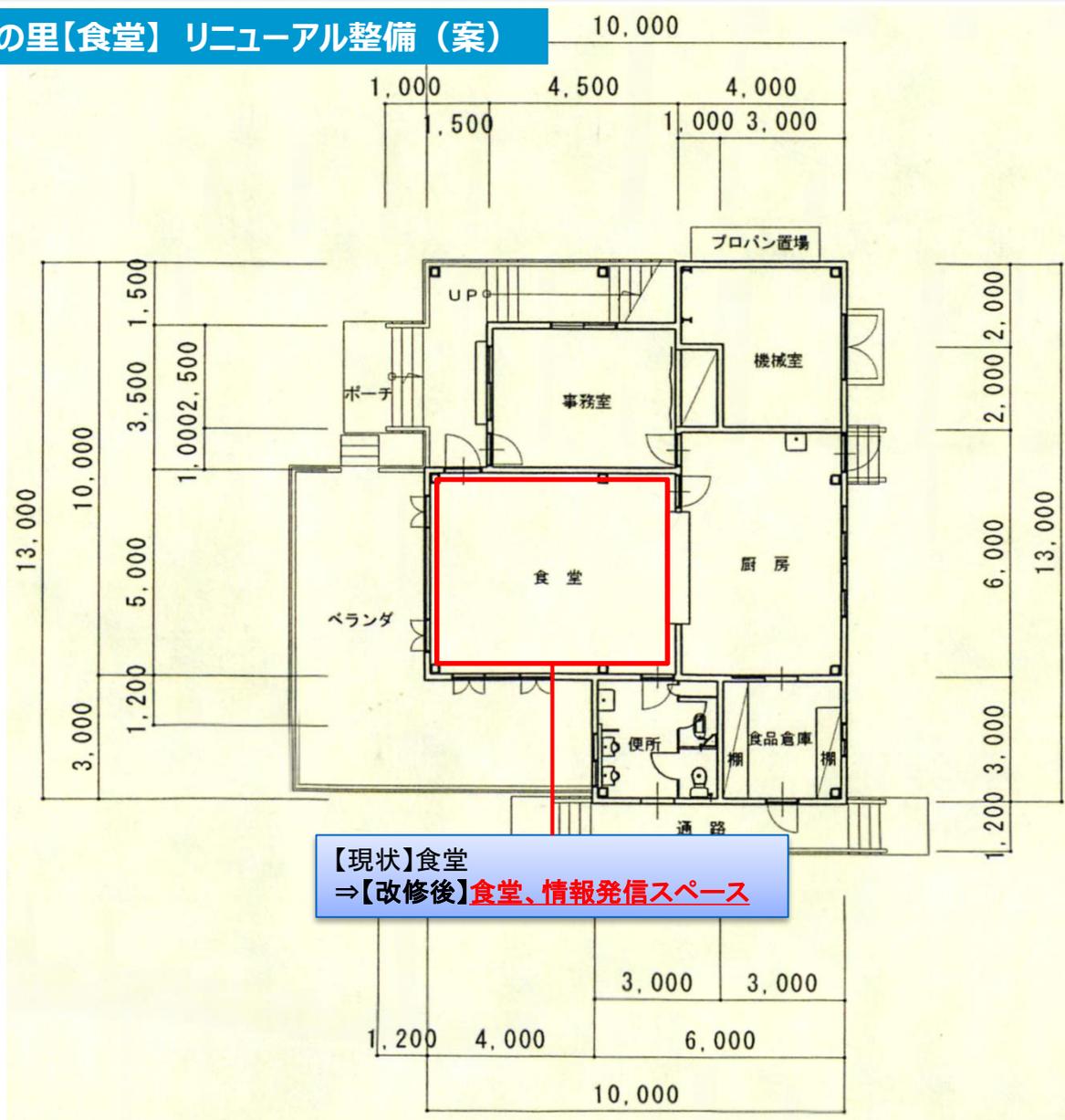


- ・研修
- ・屋外活動
- ・創作活動 など
- 多様な体験等に対応
- 冷暖房完備

- 団体の宿泊も
- 可能な研修室
- 冷暖房完備

地域再生計画『石鎚山系の魅力発信及び持続可能な資源とする事業』

石鎚ふれあいの里【食堂】 リニューアル整備（案）



地域再生計画『ソーシャル・イノベーション創出に向けた新たな起業家誘致プロジェクト』

事業の内容

事業の目的・概要

- **人口減少** 社会の到来や、そこからもたらされる**人材不足、後継者問題**等の構造危機は深刻であり、既に地域活力の後退が顕在化しつつある。
- 本市の創業比率は全国平均、愛媛県平均よりも低く、地域経済の新陳代謝を図るためにも、優位性のある**新規事業により起業**する人材を発掘する必要がある。
- そこで、**起業型地域おこし協力隊制度**を活用し、本市の**地域資源（＝自然、産業、文化、技術、人材など）**を活かした事業を立ち上げ、**起業を目指す人材を都市部から誘致**し、育成と定着を図る。
- スキルやノウハウを有する様々な世代の人材が都市部等から**還流、定着する**システムを構築することで、**中四国初となる**超少子高齢化・人口減少社会に対する新たな地方創生モデルを創り出す。
- さらに、「西条」というまちそのものをプロモーションし、「ひと」と「しごと」の好循環に繋げていくための**ローカル・ブランディング**を推進する。

事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日（3カ年度）

総事業費 ※地方創生推進交付金を活用

40,925千円（交付金申請額：20,462千円）

※地域おこし協力隊に係る経費：93,333千円（特別交付税措置）

本事業における重要業績評価指標(KPI)

	H29年度	H30年度	H31年度
本事業による起業家数	3人	10人	3人
本事業による移住者数	5人	13人	5人
起業家の売上額	0万円	500万円	1,500万円

事業イメージ

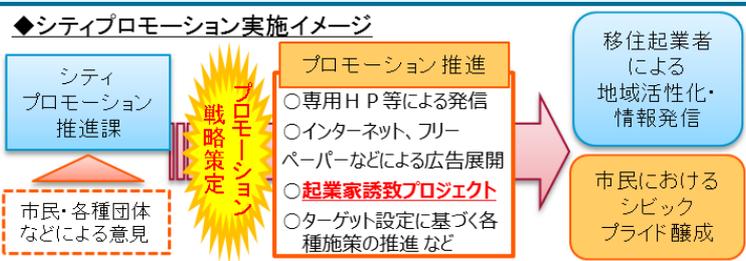
①都市圏等からの起業家誘致・育成

- 地域資源や課題を可視化し、そこから実現可能性の高い新しい事業へとつなげるプロジェクトとして設計。
- 各プロジェクトに対し、経験やアイデアを持つ起業家を10名以上誘致し、地域パートナー（住民、民間企業、行政）と共に3年以内の起業実現をサポート。
- 加えて、本プロジェクトの事務局機能を担う組織を立ち上げ、活動拠点として空き家等を改修・整備し、活用する。



②シティブロモーションの推進

- シティブロモーションという視点から本市の各種施策を総合的、戦略的にマネジメントする長期的な計画を策定する。
- 計画の策定にあたっては、市民の声や起業家誘致・育成プロジェクト検討の過程により抽出した課題等をターゲット設定に反映。
- 本市の魅力と共に起業家誘致プロジェクト等を積極的に発信することにより、シビックプライドの醸成、認知度の向上等に繋げる。



ローカルベンチャー誘致・育成事業

事業概要

・地域資源の活用や地域課題の解決に向けたプロジェクトに取り組む起業家を都市部等から誘致・育成し、定着を図る。

○全体計画

- ・事業年度 : 平成29年度～平成33年度
- ・プロジェクト数 : 約10件 ・誘致人数 : 13人

○平成29年度

- ・実施内容 : コンセプト設定、地域資源・地域課題の調査、プロジェクト設計
中心的役割を担うローカルベンチャー3人の募集・選考、活動支援
- ・事業費 : 9,046千円 (財源内訳 地方創生推進交付金 2,250千円)
内訳 委託料 8,748千円 (ローカルベンチャー育成事業委託料等)
旅費 298千円

期待される効果

- 都市部から地方への人（起業家等）の流れ創出
 - 地域の資源活用や課題解決につながる新事業の創出
 - 域内における新たな市場・雇用・経済循環創出及び活性化
 - 多様な生き方・働き方の実現
- ⇒少子高齢・人口減少社会における新たな地方創生モデル

- 募集・選考 ○計画・管理・コーディネート
- 報酬・活動支援費支給 ○生活・定住支援 等

都市部
起業人材



- 選考 ○委嘱（起業型地域おこし協力隊員）
- 生活・定住支援 等

事業コーディネート団体



- 企画・P R・プロジェクト設計
- 全体計画管理・人材育成

他地域・市外企業等



- ネットワーク

・起業型地域おこし協力隊員として募集（10名）

移住・起業・定着

・空き家・空き店舗等を改修して拠点施設として活用

ローカルベンチャー育成拠点



- ・起業型地域おこし協力隊員として募集（3名）
- ・拠点運営、事業の進捗管理等を担う事務局を設立

地域資源の活用や地域課題の解決へ向けた10のプロジェクト



西条市



- 地域再生計画
- P R・施策立案・自立化支援

市内企業・地域プレイヤー等



- パートナー・協働

シティプロモーションの推進について

西条市のシティプロモーションについて

1. シティプロモーションとは

西条市に「住んでみたい」「住んで良かった」と市内外の人に思ってもらい、市民が愛着を持ち、誇りに思えるまちづくりを推進するために、市の魅力を発掘・創造して、効果的に発信する取り組みです。

2. シティプロモーション戦略の背景・目的

今後急速に進展すると見込まれる人口減少や高齢人口比率の上昇を背景として、地域間競争を勝ち抜くためには、住民や企業、各種団体に「選ばれるまち」になることが必要であり、地域の活力と魅力を高める政策とともに、それを効果的に発信する「シティプロモーション」が重要となります。

地域の魅力を発掘・創造し、地域内外に効果的に発信する「シティプロモーション」を推進することにより、認知度の向上を図るとともに、市民のまちへの愛着度や誇りの醸成を図り、「住んでみたい」・「住んで良かった」まちづくりの実現による定住人口の増加を目指し、まちづくりの**主役である市民との協働**により「西条市シティプロモーション戦略」の策定に取り組みます。

3. シティプロモーションの効果

シティプロモーションの取り組みを通して、市民自らがまちの魅力を再発見し、あるいは創造し、暮らしにつながる喜びを実感することで、まちに愛着をもち、誇りに思い活動する市民が増えていきます。

さらには、こうした市民の想いや活動に出会うことで、このまちの魅力に共感し、新たにこのまちのファンになる人が増えていきます。この一連のプロセスがあちらこちらで沸き起こり、重なり、広がっていくことで、まちの魅力が人から人へと伝わり、まちそのものの総体的な価値が高まっていきます。



シティブロモーションに関するアンケート結果（抜粋）

【あなたが感じている西条市をひと言で表現してください】

- ・豊かで美味しい水資源の恩恵を受けている「うちぬき水」のまち
- ・山と海に囲まれた自然豊かなまち
- ・バランスのとれた住みやすいまち
- ・大学生がいないまち 大学生が就職で帰ってこないまち
- ・ひとにやさしいまち

【西条市の誇れるもの、紹介したいものはありますか】

- ・豊かな自然
- ・自然の恵みから作り出される野菜・食
- ・伝統産業の手漉き和紙（水の恵）
- ・農業、水産業、工業がコンパクトに集結し、それぞれの産業で秀でる技術がある。
- ・行政と市民との距離感が近い
- ・「うちぬき」・「まつり」・「石鎚山」
- ・住みやすいまち

【西条市の魅力を市内外にPRするためのアイデアについて】

- ・石鎚山のブランド力が高まるよう、歴史・由来・物語・景観などをしっかり発信する。
- ・大学等への進学で転出した人が帰ってくるまち＝働く場所があるまちのアピール
- ・うちぬき水をふるさと納税の返礼品として活用
- ・水・山・祭り・手漉き和紙など伝統文化の活用や発信
- ・地域資源を活用したサイクリングコースづくり
- ・SNSの積極的な活用
- ・ひとづくり

シティプロモーションに関するアンケート結果（抜粋）

【あなたは、西条市が住みやすい（暮らしやすい）まちだと思いますか】

○『思う』理由

- ・人がやさしい・温厚
- ・自然とまち並み、産業と住環境、農林水産業と商工業などすべての面でバランスがとれたまち
- ・働く場所がある
- ・豊富な食材
- ・水や自然環境に恵まれている
- ・自然災害が少ない
- ・水資源が豊かで生活費負担が軽い
- ・土地が安い＝家が建てやすい

○『思わない』理由

- ・まちとしての特徴や中心がない（目玉がない）
- ・良くも悪くもとじこもりで、もっと開放的になってほしい
- ・地域間の一体感がない

【その他のご意見】

- ・水などの地域資源について、自身でも感じるが、市外、県外の方からも言われることにより、認識が強化されていると感じる。
- ・水が豊かであることをきっかけに水について考える場を多く設けては（水と生活・防災・教育など）
- ・地域外から人を呼べる施設の誘致（レジャー施設、大学など）
- ・移住者の方から、西条市を選んだ理由についてヒアリングをしては
- ・保守的、変化を恐れると言われている西条市が、どのように動いていくのか楽しみです。

西条市シティプロモーション戦略 策定・推進体制（案）

【策定体制】

シティプロモーション戦略の策定にあたっては、市民と対話しながら作成する「市民協働」のプロセスを重視し、「市民ワークショップ」を開催し、西条市の強み・弱みの分析、魅力・課題の抽出などを行います。

ワークショップは、プロモーション戦略を策定するだけでなく、市民1人ひとりが「何ができるか」「それがまちのためになるのか」など、自ら考え、行動を起こすきっかけになります。

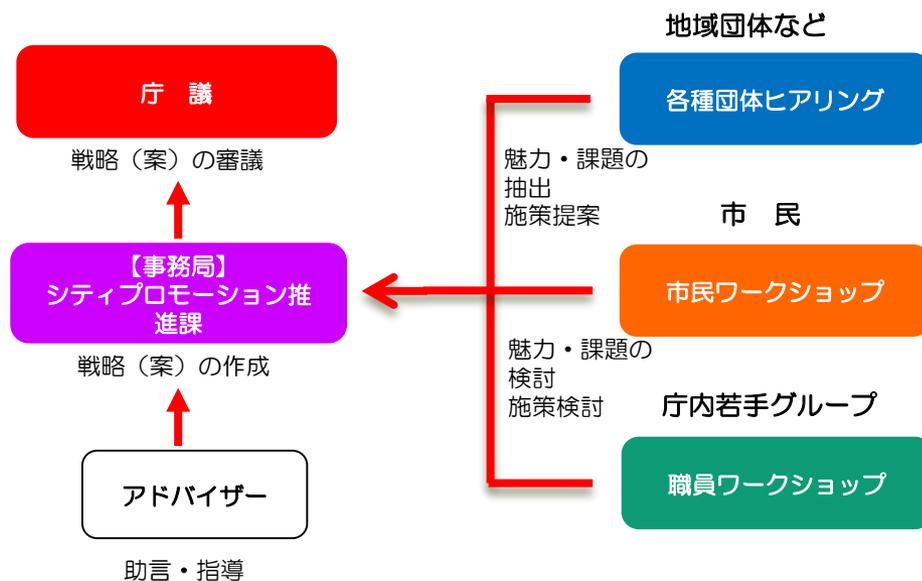
今後、ワークショップに参加したメンバーを中心に、本市のプロモーションの担い手が育っていくことを期待しています。

あわせて、各種団体などへのヒアリングを実施し、地域に根差した団体や事業者などの視点から、シティプロモーションのアイデアや連携方策などについて伺うこととしています。

上記のワークショップや各種団体などのヒアリング結果、また、各種アンケート結果などを集約するとともに、各種調査分析に基づき施策の立案を行います。

また、庁内においても部局横断型の若手職員によるプロジェクトチームを設置し、若手の柔軟な発想を戦略に反映させるとともに、本市のプロモーションの「担い手」としての意識高揚を図ることとしています。

■シティプロモーション戦略策定体制（イメージ）



シビックプライドの醸成

地域自治と協働のまちづくりについて

平成29年7月28日開催
まちづくり市民会議 説明資料

企画情報部 市民協働推進課

1 地域コミュニティの現状と課題

少子高齢化
人口減少

価値観や
ライフスタイル
の多様化



自治会
加入率の低下

ご近所づき
あいの
減少

**地域コミュニティの
弱体化**

担い手不足
役員の高齢
化・固定化

活力の低下
活気の喪失

2 これからの地域づくりに必要なこと

自治会や婦人会、老人クラブなど、地域の各種団体の機能を維持することが難しくなっている。

地域の組織が沢山あって、役員のかけもちが多くて大変！

他の団体との交流がなく、どんなことをしているのかわからない・・・

地域の色々な会議に追われて大変！

役員の引き受け手がなくて困っている。

これからの地域づくりは、地域内の様々な団体が助け合い、支え合い、補い合い、つながり合える組織づくり、仕組みづくりが重要になってくる。

地域

老人
クラブ

婦人会

自治会

PTA

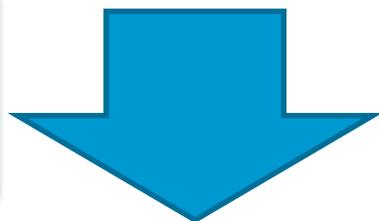
・・・

3 地域自治組織とは

複雑・多様化する地域課題に対し、行政だけの対応では、十分な成果を上げることが困難な状況。住民のより良い暮らしを実現するためには、行政だけでなく、地域をよく知る住民が主体となって、地域のことを地域で考え、地域の特性に応じて主体的に取り組み、自ら課題解決することが必要。

みんなが主役となった地域づくりの形 「地域自治組織」

各団体が連携して、不足している取り組みを補ったり、重なっている活動を工夫



活動に共通する事務を合同で担ったり、役割分担することで負担を軽減

持続可能な地域づくり

4 今後の進め方について

ステップ1

機運形成段階



市民、地域団体、行政などが参加して、地域コミュニティのあり方を考える

市民向けセミナー
市民の自治意識の醸成

市職員向け研修
職員の意識改革

ステップ2

継続的な場の設置



検討・準備段階

地域のコミュニティのあり方検討会(仮称)

(メンバー)

市民、自治会、NPO、ボランティア団体、地域で活動する団体、行政 等

(検討内容)

- ・ 地域の現状や課題の共有と整理
- ・ 地域自治組織の必要性やあり方を検討
- ・ 今後の地域づくりに向けたルールや仕組みづくりの検討 等

ステップ3

地域の住民や団体が参画する

地域自治組織の設立

地域自治組織モデル地区

～地域で話しあい、現状・課題を共有し、地域のビジョンづくり～

地域自治組織 設立

～地域で話しあい、地域づくり活動計画作成、具体的な活動の実践～

5 講演会の開催について

地域づくり講演会

実践に学ぶ これからの地域づくりへのヒント

■日時等 平成29年8月26日（土）※2回実施、内容は同様

①10時～12時@東予総合福祉センター

②14時～16時@地域創生センター

■講師 高崎経済大学地域政策学部 教授 櫻井常矢氏
（西条市市民協働に関する政策アドバイザー）

■内容

少子高齢化など地域を取り巻く環境は大きく変わっている中、自分たちが住む地域をどのようにしていけば、暮らしやすくなるのか、そのヒントを学ぶ

■定員等 各100名程度（無料）

